

微生物検査学

単位数：2単位(45時間)

責任者：香取 尚美
学年・学期：第2学年・前期/後期

◆一般目標(GIO)

臨床検査技師として、微生物検査に対する必要な基礎知識・技術を身に付ける為に、微生物の特徴・検査方法などを理解し、検体の取り扱い方及び微生物検査について習得する。

到達目標(SBOs)

1. 微生物検査の意義について説明することができる。
2. 微生物の分類と特徴について説明することができる。
3. 細菌の構造について説明することができる。
4. 消毒・滅菌について使用方法・対象にする菌について説明することができる。
5. 各培養方法について説明することができる。
6. 特殊染色について説明することができる。
7. 抗生物質について、作用機序・使用対象菌（有効菌）について説明することができる。
8. グラム陽性球菌に用いられる・培地の組成について説明することができる。
9. グラム陰性桿菌に用いられる・培地の組成について説明することができる。
10. グラム陽性球菌について性状や同定手順が説明できる。
11. グラム陰性桿菌について性状や同定手順が説明できる。
12. グラム陽性桿菌の性状や特徴について理解することができる。
13. グラム陰性球菌の性状や特徴について理解することができる。
14. 真菌の性状や特徴について理解することができる。

◆学習方法

必要に応じてプリントを使い講義形式で行う。

◆評価方法

授業内試験、および出席、小試験で総合的に行う。

◆教科書

臨床検査学講座 『臨床微生物学』 松本 哲哉 編 医歯薬出版(株)

◆参考書

臨床微生物検査ハンドブック 第2版 小栗豊子 編集 三輪書店

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	一般的注意事項	一般的注意事項を身につける。	香取
2		無菌操作の必要性を学ぶ	
3	滅菌と消毒	器具の取り扱い、滅菌の仕方、 手指及び器具の消毒法	〃
4			
5	培地	細菌の培養条件、培地基材、 材料、作製法	〃
6			
7	細菌の培養	平板培地、斜面培地、液体培地など 純培養法、手技。 また、発育してきた、細菌の観察の方法 (臭い・形など)	〃
8			
9	〃	〃	〃
10			
11	細菌の染色	細菌を染色する目的、染色液の成分 また、標本の作成方法や染色の方法	〃
12			
13	鑑別と同定	細菌の鑑別、同定方法	〃
14			
15	〃	〃	〃
16			
17	〃	〃	〃
18			
19	真菌の検査	真菌の検査法	〃
20			
21	化学療法テスト	治療に用いられる有効薬剤および基本方法	〃
22			
23	総合試験	すべての項目について試験を行う	〃